

## 平成26年度中期発がん性試験の対象物質選定リスト

名称(別名)	CAS番号	化審法 官報公示 整理番号	化審法 旧二監 No.	選定リストに入れた 理由	微生物を用い る変異原性試 験結果	哺乳類培養細胞を 用いる染色体異常 試験結果 (その他の遺伝毒 性試験結果)	融点( ) 沸点( ) 蒸気圧(kPa)	性状等	用途	製造・輸入量 (平成22年度) (注1)	製造・輸入量 (平成23年度) (注2)	備考	別紙資料の情報源 / 試薬の入手可能性	試験媒体の 検討状況
1,4-ジプロモブタン	110-52-1	9-2008	978	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2、かつ、厚労省試 験で強い変異原性あ り	陽性 比活性値 $1.6 \times 10^3$	陽性 D20値 0.075	-16.5 197 $8.2 \times 10^{-2}$ (25 )	無色透明 の液体	医薬原料	× (届出が2社以下の ため非公表)	× (届出が2社以下の ため非公表)  化学工業日報社2 011年推定 30t	類縁物質である1-プロモブタン は、がん原性指針対象物質	RTECS GHS 538 化学商品 変異原性  試薬入手可	未
1,2-ジクロロ-4-ニトロベンゼン	99-54-7	3-455	992	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2、かつ、厚労省試 験で強い変異原性あ り	陽性 比活性値 $1.10 \times 10^4$	陽性 D20値 0.085	43 255.5 $1.36 \times 10^{-3}$ (25 )	固体	医薬・農業・染料・顔料中間体	1,000t未満 (ジクロロニトロベン ゼンの異性体の合 計)	× (届出が2社以下の ため非公表) (ジクロロニトロベン ゼンの異性体の合 計)	異性体のうち、 ・1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン ・2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン は、がん原性指針対象物質	RTECS GHS 経産1-166 環境リスク評価 8 ICSC DFG G 変異原性 S3  試薬入手可	未
4-{{1-n-アルキル(C=1-6)-n-アルキル(C=6-12)}}[ただし、炭素数の合計は10-13]}ベンゼンスルホニル=アジド	該当なし	3-4380 (安衛法 整理番号 4-(13)- 213)	586	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2	陽性 比活性値 8359	陰性	混合物のため、一定の 値なし	粘性液体	医薬品原料	× (届出が2社以下の ため非公表)	× (届出が2社以下の ため非公表)	混合物 以下が成分相当品の1つか？ トデシルベンゼンスルホニル アジド(CAS 79791-38-1)	<物質特定できず>  化学商品  トデシルベンゼンスルホニルアジド(ソフト 型)(混合物) 試薬入手可	自己反応性が高く、試 験は困難か？
10H-9-オキサ-10(5)-ホスファフェナントレン-10-1-オン・1,4-ナフトキノ・(フェノール・ホルムアルデヒド重縮合物の1-クロロ-2,3-エポキシプロパンによるグリシジルエーテル化変成物)重縮合物	該当なし	7-2606	589	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2	陽性 比活性値 1900	陽性 D20値 2	高分子化合物のため、 一定の値なし  融点、沸点は相当高い と推測される	固体と推 測される	非公表	× (届出が2社以下の ため非公表)	× (届出が2社以下の ため非公表)	物質特定できず 検索でも化審法関係記述のみ該 当	<物質特定できず>	未
4-tert-ブチルフェノール	98-54-4	3-503	828	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2	陰性	陽性 D20値 0.0092	98 237 $3.0 \times 10^{-2}$ (20 )	固体	ポリカーボネート樹脂の分子量調 節剤、油性フェノール樹脂(接 着剤、インキ、ワニスなど)、各種 合成樹脂変性(改質剤)、香料原 料、安定剤原料(塩化ビニル)、界 面活性剤	50,000t (モノアルキル(C=3 ~9)フェノールの 合計)	30,000t (モノアルキル (C=3~9)フェノ ールの合計)	ラットの二段階発がんモデル試 験の情報あり(標的は胃、結果 は陽性)	RTECS GHS 経産 1-368 化学商品 SIDs, ICSC  試薬入手可	平成25年度の次候補  試験媒体の検討済み (オリブ油に可溶で、か つ1週間以上の安定性 あり)
1,2,3-トリクロロベンゼン	87-61-6	3-74	920	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2	情報なし	陰性  (in vivo 小核試験: 陽性)	51.3 218.5 $2.8 \times 10^{-2}$ (25 )	白色結晶	染料・顔料中間物、トランス油、潤 滑剤	× (トリクロロベンゼン の異性体の合計) (届出が2社以下の ため非公表)	× (トリクロロベンゼン の異性体の合計) (届出が2社以下の ため非公表)	ラットの二段階発がんモデル試 験の情報あり(標的は肝臓、結 果は陰性)	RTECS GHS 経産1-290-2) 環境リスク評価 4.9 化学商品 ATSDR DFG 3,G Merck  試薬入手可	未
2-クロロピリジン	109-09-1	5-720		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」	陽性	(マウスリンフォーマ 試験:陽性)	-46.5 170 $2.91 \times 10^{-1}$	液体	医薬・農業中間体	1,000t	1,000t		RTECS GHS 21A3696 Sax Toxicol Appl Pharmacol 11; 361  試薬入手可	未
1,4-ブタンジオールグリシジルエーテル	2425-79-8	2-396		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」	陽性 $6.06 \times 10^2$	(in vivo小核試験: 陽性) (マウスリンフォーマ 試験:陽性)	-21.5 294 $2.5 \times 10^{-4}$ (25 )	液体	接着剤原料	1,000t	1,000t	マウスの経皮投与発がん性試験 情報あり(結果は陰性)	RTECS GHS 24A6129 Patty Toxicology DFG G  試薬入手可	未
ブチルフェニルグリシジルエーテル	3101-60-8	3-575		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」	陽性 $1.05 \times 10^4$	陰性	3.5 245 $3.61 \times 10^{-4}$	液体	エポキシ樹脂の反応性希釈剤	1,000t未満	1,000t未満		RTECS Lide Patty Toxicology  試薬入手可 ただし、品名からみて樹脂変性品の可能性 あり	未
5-ニトロインダゾール	5401-94-5	5-270		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」	陽性 $5.09 \times 10^3$		207 383 $1.31 \times 10^{-6}$ (20 )	固体	写真薬	× (届出が2社以下の ため非公表)	届出なし		RTECS 試薬入手可	未
臭素酸ナトリウム	7789-38-0	1-115		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」		(in vivo小核試験: 陽性)	381 1390 $1.33 \times 10^{-1}$ (806 )	固体	医薬部外品添加物(パーマナント ウェーブ用剤)、試薬	1,000t未満	1,000t未満	類縁物質である臭素酸カリウム は、遺伝毒性及び発がん性あり (IARCは2B)  遺伝子改変マウスの発がん性試 験情報あり(結果は陰性)	RTECS GHS 経産 1-235-2) 化学商品 NTP GMM 6 Merck  試薬入手可	未

(注1)一般化学物質の製造・輸入数量(平成22年度実績)(経済産業省)

(注2)一般化学物質の製造・輸入数量(平成23年度実績)(経済産業省)

## 平成24年度第3回企画検討会のリストに掲載されており、今回のリストから除外した物質(4物質)

平成25年度の中期発がん性試験の対象とした物質  
・2-ピニルピリジン  
・1,3-ジプロモプロパン  
中期発がん性試験が困難な物質  
・3,3'-ジメチル-4,4'-ビフェニレンジイソシアネート(25年度試験対象だったが、適切な試験媒体がないため、試験は困難)  
・三フッ化窒素(常温で気体のため、試験は困難)

:今回のリストに追加した物質(5物質)